

館山市議会議員

第10号 令和4年1月16日発行

鈴木ひとみ市政報告



ごあいさつ



明けましておめでとうございます。新型コロナウイルスの感染拡大も落ち着き徐々に日常生活が戻り始めたのも束の間、オミクロン株の影響もあって、急激に感染が再拡大し始めています。治療薬の利用も始まっていますが、まずは基本の感染防止を続けましょう。

今年こそ、皆が笑顔で暮らせる年になることをお祈り申し上げます。

鈴木ひとみ

令和3年第4回定例会 一般通告質問より

海の魅力に磨きをかけるために

～海の環境整備のために市と県が連携を～

相浜海岸

市の総合計画の重点プランの第一番目に「海の魅力アップ」が掲げられています。海で人が働く、憩う、海の魅力で人を呼び寄せるためには、海がきれいであることが必須条件です。

市は海水浴場を開設する海岸を中心に、職員により重機等を使った清掃を行っています。海岸清掃を行うボランティアも増え、ゴミの回収などで市は様々な便宜をはかってくれています。海岸の管理者は県ですが、その恩恵にあずかるのは館山市民です。海の魅力を磨くために、県と市が更に連携していくべきです。

保育環境の充実を

多くの自治体が若い世代の取り込みに躍起になっており、子育て支援を充実させたところが確実に人口を増やしています。全国の3歳児の就園率が94.7%であるのに対し、館山市は74.5%にとどまっています。平成17年に文部科学省中央教育審議会は、入園を希望するすべての満3歳児から5歳児が、幼児教育を受けられる環境を整備するよう答申の中で求めています。

3歳は、自我や社会性も目覚め「子ども同士」のかかわりが必要となる時期です。核家族化が進んで、子どもの数が少なくなった今、「子どもたちが一緒に遊べる」環境を整えるためにも、短時間枠の3歳児を受け入れる「こども園」の整備が早急に必要です。

